

あさひな米づくり情報

「環境保全米」栽培

「斑点米カメムシ類」防除薬剤 2 剤目は「トレボン剤」になります。

「斑点米カメムシ類」の防除を徹底しましょう！

◎防除薬剤の 2 剤目は「トレボン剤」です。

したがって、カメムシ防除は.....

スタークル剤(1回)+トレボン剤(1回)の 2 回体系防除になります。

※ 同一薬剤（スタークル+スタークル、又はトボソ+トボソ）の使用は出来ませんのでご注意願います。

※ 無人ヘリ防除はスタークル液剤を散布します。前後の地上防除はトレボン剤を使用して下さい。

稲こうじ病防除 まもなく散布適期が終了します！

（中生品種の場合）

出穂 20 日～10 日前に「Z ボルドー粉剤 DL」を散布しましょう。

（例：出穂期が 8 月 5 日の場合、7 月 16 日～26 日の期間に散布）

※ ボルドー剤は散布時期がずれたり、散布時に葉が濡れていると薬害が発生する可能性がありますのでご注意願います。

◇ 防除例 ◇

例	1 回目	2 回目
①	スタークル粉剤 DL	トボソ粉剤 DL
②	トボソ粉剤 DL	スタークル粉剤 DL
③	トボソ粉剤 DL	無人ヘリ散布
④	無人ヘリ散布	トボソ粉剤 DL
⑤	スタークル 1 キロ H 粒剤	なし 又は トボソ粉剤 DL

薬剤名	10a 当り使用量
スタークル粉剤 DL	3kg
スタークル 1 キロ H 粒剤	1kg
トレボン粉剤 DL	3～4kg
Z ボルドー粉剤 DL	3～4kg

有効成分のカスガマイシン・バリダマイシンの成分カウントが除外されることになり、環境保全米栽培において以下の農薬が使用できます。

対象病害	農薬名	有効成分	成分カウント
いもち病	カスミン液剤	カガマイツ	0 カウントなし
紋枯病	バリダシン液剤 5	バリダマイツ	
	バリダシン粉剤 DL		

□ 出穂期予想 平坦部中生品種で 8 月 5 日 頃（平年並み）

～ 生育状況 ～
7 月 11 日調査 ひとめぼれ

管内の生育は

平年並み～やや進んでおります。

草丈はやや高い（平年比 104%）
茎数はやや多い（平年比 108%）
葉色はやや濃い（平年比 107%）
幼穂は 3.2mm（出穂約 20～25 日前）

水田周辺に斑点米カメムシ類が発生！

－水田周辺の草刈りを適期に実施しましょう！－

発生は毎年多い傾向にあり、本年のように気温が高い場合、カメムシは活動が活発化します。近年、落等理由で最も多く注意が必要です。

耕種的防除 水田畦畔や周辺雑草地の草刈は.....

出穂 10 日前まで終了して下さい

薬剤防除 穂揃期（出穂 95%）とその 7～10 日後の 2 回防除が基本！

使用薬剤例：スタークル剤、トレボン剤 等

カメムシ防除は地域一斉に実施しましょう！

～ 病害対策 ～

病害虫名	発生量	対策	使用薬剤
葉いもち	平年並	圃場を見回り、いもち病斑を発見した場合は早期に薬剤防除を実施。	ブラシン粉剤 DL カスラブサイド粉剤 DL 等
紋枯病	やや多	前年発生が多かった圃場は粒剤で予防防除を実施。穂ばらみ期に発生が多く確認された場合は粉剤で防除。	（出穂 2～3 週間前）モンガリット粒剤 （発生が確認された場合）モンセレン粉剤 DL
稲こうじ病	平年並	前年多発した圃場は注意が必要。粉剤・粒剤による防除を実施。窒素肥料の多施用や遅い追肥は発生を助長。	（出穂 20 日～10 日前）Z ボルドー粉剤 DL （出穂 2～3 週間前）モンガリット粒剤

※ 薬剤の使用量は全て 3～4kg/10a です。

